

** 2012年4月 第7版
製造販売業者の住所変更に伴う改訂等
* 2008年4月 第6版 改訂
<貯法>遮光した気密容器

殺菌消毒剤

日本薬局方

日本標準商品分類番号 872619
承認番号

フェノール： 16000AMZ04513000
液状フェノール： 16000AMZ04514000
薬価収載 1950.10
販売開始 1949.8
再評価結果公表 1982.8

劇薬

*販売名：フェノール「コザカイ・M」

フェノール
Phenol

劇薬

*販売名：液状フェノール「コザカイ・M」

液状フェノール
Liquefied Phenol

【禁忌】 次の部位には使用しないこと。

損傷皮膚及び粘膜 [吸収され、中毒症状を起こすおそれがある。]

【組成・性状】

	組成 フェノール (C ₆ H ₆ O :94.11) として	性状
フェノール	98.0%以上	本品は無色～わずかに赤色の結晶又は結晶性の塊で、特異なにおいがある。 凝固点：約 40℃
液状フェノール	88.0%以上	本品は無色またはわずかに赤色を帯びた液で、特異なにおいがある。

【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、医療機器・手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒、排泄物の消毒

下記疾患の鎮痒

痒疹 (小児ストロフルスを含む)、じん麻疹、虫さされ

【用法・用量】

1. 手指・皮膚の消毒

フェノール 1.5～2%溶液を用いる。

2. 医療機器、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒

フェノール 2～5%溶液を用いる。

3. 排泄物の消毒

フェノール 3～5%溶液を用いる。

4. 痒疹 (小児ストロフルスを含む)、じん麻疹、虫さされの鎮痒

フェノール 1～2%溶液、または2～5%軟膏として用いる。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

(1) 原液又は濃厚液が皮膚に付着した場合には腐蝕及び吸収され、中毒症状を起こすことがあるので、直ちに拭きとりエタノール又は多量の水でよく洗い流すこと。

(2) 眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。

(3) 本剤は必ず希釈し、濃度に注意して使用すること。

(4) 炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
過敏症 ^{注)}	発疹等

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意

(1) 人体

投与経路：外用にのみ使用すること。

使用時：

ア 密封包帯、ギプス包帯、パックに使用すると刺激症状及び吸収され、中毒症状があらわれることがあるので、使用しないこと。

イ 長期間又は広範囲に使用しないこと。[吸収され、中毒症状を起こすおそれがある。]

ウ 誤飲を避けるため、保管及び取扱いには十分注意すること。

(2) その他

ア 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合は、腐蝕を防止するために0.5～1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。

イ 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。

【薬効薬理】

本剤は使用濃度においてグラム陽性菌、グラム陰性菌、結核菌には有効であるが、芽胞 (炭疽菌、破傷風菌等) 及び大部分のウイルスには殺菌効果は期待できない。

【包装】

フェノール 500g
液状フェノール 500mL、18kg

火気厳禁 第3石油類 水溶性 危険等級Ⅲ

製造販売元



小堀製薬株式会社

**東京都墨田区両国 4-36-9